

COGNEX

DataMan[®] 300 Series

エクステンションキット取扱説明書

2021 January 28

レーザー光に関する警告

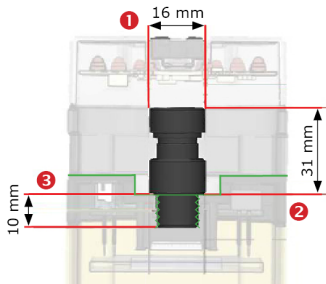


警告: ケーブルの追加、取外し、交換などの際には絶対に光線を直視しないでください。コグネックスでは、部品や配線等の交換時に必ずリーダーの電源を切ることをお勧めしています。

寸法上の制限について

下記の DM300 リーダー断面図が示すように、DM300 エクステンションキットにはレンズの寸法に制限があります。

- 1: 鏡筒/レンズスペーサーの最大直径 = 16 mm
- 2: マウント正面からレンズの最大長さ = 31 mm
- 3: M12 レンズのスレッド最大伸長 = 10 mm

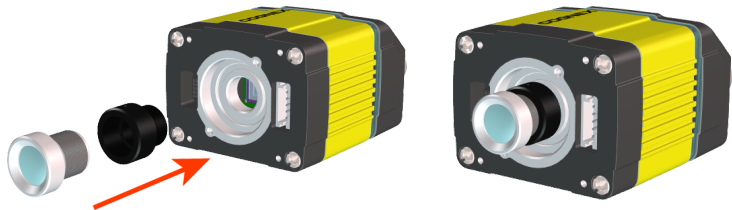


DataMan 300 エクステンションキットについて

DM300 エクステンションキットを取付けることで、焦点距離の長い Sマウント / M12 レンズおよびスペーサーが使用できるようになります。

レンズの挿入

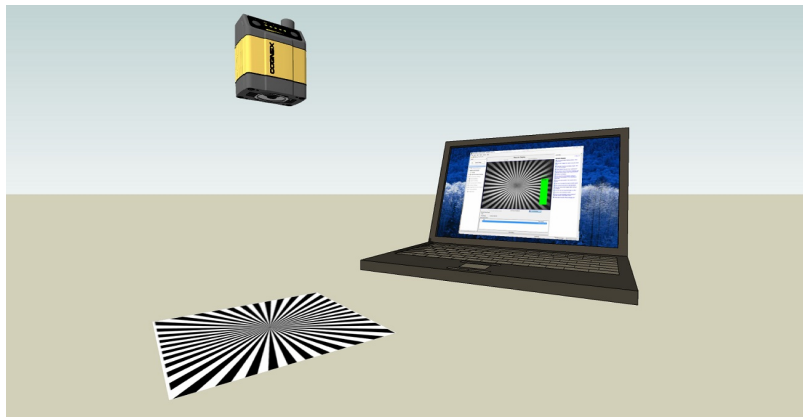
1. デバイスの電源を切ってから、レンズカバー、レンズ、保護キャップを外します。
2. M12 レンズをはめます。必要に応じてエクステンダーを使用してください。



フォーカス調整

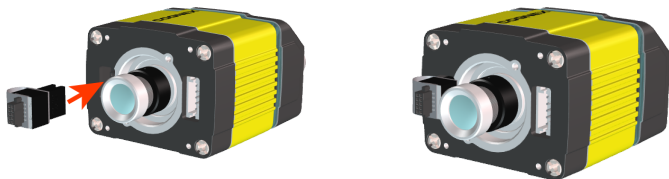
1. 適切な動作距離をとって、読み取り対象にリーダを当てます。
2. DM300 の電源を入れます。
3. リーダと Setup Tool を接続します。
4. [結果表示]ペインの[焦点フィードバック]にチェックを入れ、ライブ表示を有効にします。

5. Windows のスタートメニューから DataMan 焦点対象テンプレートを開き、リーダ本体の端とアプリケーションの対象距離表示ラインを調整します。
6. 鮮明度の最大値に焦点を合わせます。セットアップしやすくするため、Setup Tool で画質を上げてください。
7. M12 レンズのセットアップがロックされていることを確認します。
8. 鮮明度の最大値に焦点が合っていることを確認します。
9. DM300 の電源を切ります。



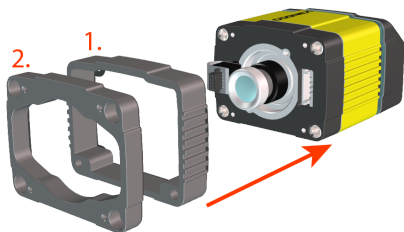
延長ケーブルの追加

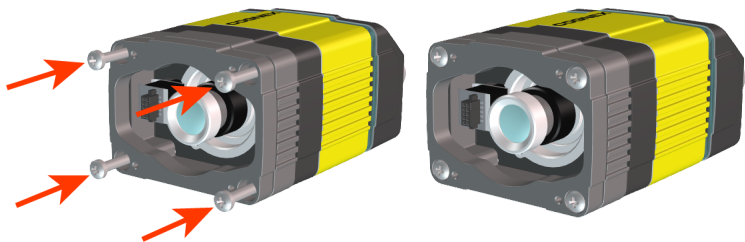
延長ケーブルを差し込みます。



本体用エクステンションの追加

本体用エクステンションを図で示した順序にならって取り付け、ねじで固定します。



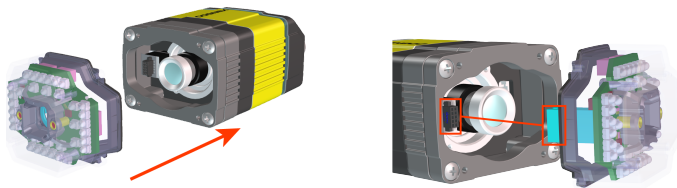


注：締付順序を守ってください。最大トルク:0.8 Nm。

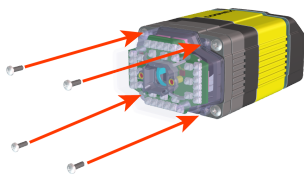


レンズカバーの取り付け

1. レンズカバーを取り付けます。この時、カバーの照明コネクタと延長ケーブルのコネクタをしっかりとはめてください。



2. レンズカバーの固定。



注：ネジの締付けトルクは9 N-cmです。



Copyright © 2021
Cognex Corporation. All Rights Reserved.